

平成 23 年 10 月 6 日

プロセス・トライボロジー分科会委員各位

主査 土屋 能成

プロセス・トライボロジー分科会第131回研究会（見学付き）のご案内

貴社益々御盛栄のこととお慶び申し上げます。平素より当分科会事業に御理解ならびに御協力頂きありがとうございます。さて、第131回の研究会を下記の予定で開催します。研究会のテーマは「アルミニウムの加工におけるトライボロジー」となっております。ご参加頂けますようご案内申し上げます。

（委員の代理の方の参加も可能です。委員（代理）以外の方のオブザーバー参加（参加費¥3,000）も受け付けます。）

日 時：平成23年10月24日（月）13:30～16:55

会 場：住友軽金属工業(株) 名古屋製造所 本館 第一A会議室  
（〒455-8670 名古屋市港区千年3丁目1番12号）

交 通：●JR金山駅より市バス（金山25系統）港明町，または労災病院前下車  
●地下鉄名港線 東海通駅2番出口より徒歩15分

**第131回研究会：**

(1) 主査挨拶（13:30～13:35）

(2) 会社案内（13:35～13:55） 住友軽金属工業(株) 研究開発センター 細見 和弘 君

(3) 話題提供（13:55～15:25）（質疑各5分程度含む）

13:55～14:25 「当社におけるトライボロジー技術の新しい展開」

住友軽金属工業(株) 研究開発センター 上田 薫 君

アルミニウム合金は鋼材と比較して、軟らかい、凝着しやすい、摩耗粉が発生しやすいなどの理由から、一般に加工が難しいといわれている。当社ではアルミニウムの市場を広げるため、製品加工におけるトライボロジーの技術開発を行ってきた。その一例を紹介する。

14:25～14:55 「アルミニウムの冷間圧延における摩耗粉調査」

住友軽金属工業(株) 研究開発センター 戸谷 友貴 君

アルミニウムの冷間圧延では摩耗粉が発生し、製品に影響を与える場合がある。そこで冷間圧延における摩耗粉の発生挙動を基礎的に調査した結果を紹介する。

14:55～15:25 「高分子添加油とDLC-Si膜の組合せによるアルミニウム合金の加工力低減」

(株)豊田中央研究所

松井 宗久 君

アルミ合金のボール通し試験において、環境負荷低減を狙いとする高分子添加油とDLC-Si膜との組合せにより、固体潤滑皮膜よりも加工力を半減する潤滑性能が得られたので、その結果を紹介する。

15:25～15:40 休 憩

(4) 工場および展示室見学（同業者の方はお断りする場合があります。お断りする場合は10/18以降、10/21までにご連絡いたします。）

15:40～15:50 概要説明

15:50～16:35 工場見学

16:35～16:50 質疑応答

(5) 主査閉会挨拶（16:50～16:55）

---

申込先：ryo@mat.eng.osaka-u.ac.jp

(1) 御氏名, (2) 御所属, もし連絡先 (住所, 電話, ファックス, e-mail等) に変更がありましたら, お知らせ下さい.)

申込締切：10月17日 (月) 17:00